

日本占領研究の回顧
— 占領史研究会の活動を中心に —

2013年6月28日

国民大学+東京大学

天川 晃

はじめに

1. 占領史研究会とは

- ・ 20年間継続(1972.11~1992.12) : 3人→130名
- ・ 研究会 : 143回 (年6回程度) + α / 公開シンポジウム (1981-) 11回。
- ・ 「占領史研究会ニュース」 : 82号

2. 時代背景

①研究インフラ

- ・ 研究道具 : ゼロックス / [パソコン / e-mail / CiNii / OPAC]
- ・ 資料公開状況 : [国立国会図書館 SCAP 資料収集開始(1979~) / 外務省戦後外交記録公開開始(1976~)] / Federal Records Center, Suitland / FRUS 1944 (1965), 1945(1969)

②研究状況

- ・ 竹前栄治『アメリカ対日労働政策の研究』(日本評論社、1970) / [東京大学社会科学研究所編『戦後改革』(全8巻)(1974~75) / 大蔵省財政史室編『昭和財政史 終戦から講和まで』(全20巻)(1976~) / McArthur Memorial Symposium (1975~)]
- ・ 日米共同研究 : 日本学術振興会編『日本占領文献目録』(日本学術振興会、1972) / [The Allied Occupation of Japan, 1945-1952 (American Library Association, 1974)]

3. 研究会の活動

①発端

- ・ 天川→竹前+福島 / 福島鑄郎『戦後雑誌発掘 : 焦土時代の精神』(日本エディタースクールの出版部、1972) / 『文献目録』の補訂版+研究情報交換+基礎資料の蓄積 / 「ニュース」

②会員の拡大

- ・ 学際 : 朝日学術奨励金+科研費 / 占領史研究会編『地方における占領史関係文献目録』(占領史研究会、1976) / 竹前・天川・袖井・秦『日本占領秘史』(朝日新聞社、1977) / 中村隆英編『占領期日本の経済と政治』(東京大学出版会、1979) /
- ・ 民際 : 思想の科学研究会編『共同研究 日本占領軍 : その光と影』(現代史出版会、1978) / 公開シンポジウムの開始(1981~)

③研究の特徴

- ◎ 米国新資料の利用 : 竹前 / 秦郁彦『アメリカの対日占領政策』 /

◎関係者ヒアリング：内政史研究会／鈴木市蔵(57)／星晃(69)／渡辺武(75)／高橋正雄(98)／渋沢輝二郎(106)／

◎メンバー構成（学際＋民際＋国際）

☆学際：『戦後日本の原点－占領史の現在』：「世界史の中の日本占領」袖井林二郎＋豊下権彦：「天皇制」高橋紘＋山極晃：「新憲法の成立」天川晃＋古川純：「東京裁判」栗屋憲太郎＋内海愛子：「教育改革」久保義三＋土持法一：「経済改革」原朗＋三和良一：「労働改革」竹前栄治＋三宅明正：「農地改革」岩本純明＋磯峻衆三：『『逆コース』』五十嵐武士＋中村政則：「冷戦の中の沖縄」進藤栄一＋宮城悦二郎：「講和・安保」古関彰一＋宮里政玄：「日本占領とは何か」袖井林二郎＋竹前栄治。

☆民際：福島铸郎（戦後雑誌）／高橋紘（昭和天皇）／笹本征男（原爆調査）／佐藤一（下山事件）／井上一郎（租税行政）

☆国際：a)報告者：James W. Morley(4)／Ellen Hammond (59)／Roger Buckley (67)／Harry Wray (85)N(65)／Carol Gluck (89)N(68)／李石 (91)N(69)／Lonny E. Carlile (94)N(70)／K. Amamiya (96)／Anil Rawat (99)／Grant Goodman (101)／Mitsugu Sakihara (105)／John W. Dower (123)／汪鴻祥(137)

b)：寄稿者(N)：Roger Buckley (67)／Thomas Burkman (57)／Victor Carpenter (54)(63)／Roger Dingman (55)(57)(62)(71)／Laura Hein (58)(60)(67)(70)／許介麟(70)／金明植 (58)／Anil Rawat (41)(53)(62)(68)／Jay Rubin (56)／

★米英中心で東アジア関係が弱い。

★韓国関係：宮崎章「占領初期における米占領軍の在日朝鮮人対策と日本政府の対応」(74)N(58)／金明植「占領下農地改革政策の構造」N(58)／「金明植さんの在留延長署名のよびかけ」N(68)／田中宏「日本占領と旧植民地出身者の地位・処遇」(87)N(66)／大沼久夫「米国軍占領下の南朝鮮」(116)／大沼久夫「朝鮮占領研究の10年」N(78)

④解散

- ・メンバーの「高齢化」：「占中」世代から「占後」世代へ
- ・史料の鮮度：占領期よりも50年代以後
- ・研究会と「ニュース」の乖離：記録性／会費
- ・「解散」以後：「占領史研究通信」／「同窓会」→「占領・戦後史研究会」

おわりに ―研究情報流通の場(Forum)―

- ・研究の発展と時代の変化：①精緻化／②視野拡大／③多様化／④総合化／

参考文献

- ・竹前栄治・天川晃・袖井林二郎・秦郁彦『日本占領秘史』上下（朝日新聞社、1977）
- ・袖井林二郎・竹前栄治編『戦後日本の原点』上下（悠思社、1992）
- ・占領史研究会編『占領史研究会ニュース』（柏書房、1993）

占領史研究と地域～自治体史・国際交流史の視点から

大西比呂志 (フェリス女学院大学)

はじめに

地方政治研究、自治体史(横浜市史Ⅱ)、国際交流史

1 占領史研究と地域

① 占領史研究と地域の視点

天川晃ほか『地域から見直す占領改革—戦後地方政治の連続と非連続』(2001年)、同『占領下の神奈川県政』(2012年)

「占領改革の構想・政策」→「改革の実態」、比較研究へ

② 自治体史編纂の「現代化」(1980年代～) 戦争・占領・戦後史の編纂

『横浜市史Ⅱ』横浜市総務局文書課市史編集室(1985年～2004年度)

通史編3巻6冊、資料編9冊、索引・総目次編の本編16冊、『横浜市史資料所在目録』全12集、『市史研究よこはま』全16号

・戦災敗戦時の焼失散逸の欠を補う

→在米(アメリカ軍)資料の収集利用

『横浜市史Ⅱ資料編1 連合軍の横浜占領 終戦連絡横浜事務局・連絡調整横浜事務局「執務報告書」』1989年

『横浜市史Ⅱ資料編3 占領期の地方行政 内山岩太郎日記』1993年

③ 軍事史研究の一般化(歴史研究としての拡大)

空襲・侵攻・進駐・占領・基地 USSBS、Downfall・Coronet・Blacklist Operation…

「横浜の空襲と戦災を記録する会」→今井清一『大空襲5月29日』(1995年)

2 さまざま自治体史と占領研究

① 上陸・進駐・基地問題

『茅ヶ崎市史現代2 茅ヶ崎のアメリカ軍』(1995年)

→大西ほか『相模湾上陸作戦』(1995年)、栗田尚弥『米軍基地と神奈川』(2011年)

『呉市史第8巻』(呉市、1995年)→千田武志『英連邦軍の日本進駐と展開』(1997年)

『占領下の横須賀 連合軍の上陸とその時代』(2005年)

『新横須賀市史 資料編 近現代3』(2011年)

・横須賀海軍基地司令官デッカー Benton Weaver Decker, *Return of the Black Ship* →スタンフォード大学フーバー研究所 Hoover Institution on War, Revolution and Peace, Stanford

University Decker Papers

・横須賀基地軍政官ヒギンス Wallace L. Higgins, *From Hiroshima with Love* (ビクターヒギンス氏提供ヒギンス文書横須賀市史所蔵)

② 占領政策と戦後地方文化

プランゲコレクション Prange Collection ,University of Maryland

『山口県史 現代3 言論・文化,プランゲ文庫』 (2004年)

3 パーソナル／国際交流史の視点から

① 占領軍政要員、MIS、WAC

・ラトガース大学オーラルヒストリー・アーカイブス The Rutgers Oral History Archives of World War II, the Korean War, the Vietnam War and the Cold War

・コロラド大学ボルダー校 University of Colorado at Boulder、US Navy Japanese Language School Project

Roger Dingman, *Deciphering the Rising Sun: Navy and Marine Corps Code breakers, Translators and Interpreters in the Pacific War..* (2009)

・元 WAC メアリー・ルジャーリ Mary A. (Kiddie) Ruggieri Collection (同氏所蔵 at Modest CA) *From Japan With Love 1946-1948 A Remarkable memoir of post-war Japan. Told in Letters and Photographs*

・日系語学将校 MIS について

Japanese American National Museum, Hirasaki National Resource Center

UCLA Charles E. Young Research Library Department of Special Collections

Yuji Ichioka Papers, Yoneda, Karl G., Papers, 1928-1989.

Go For Broke National Education Center (367 Van Ness Way, Suite 611 Torrance, CA 90501)

James C. McNaughton, *Nisei Linguists: Japanese Americans in the Military Intelligence Service During World War II*

② 米民間人の「占領」 (特派員、宣教師、教師)

・ノエル・ブッシュ Busch, Noel Fairchild, 1906- Papers, 1922-1981

・ラッセル・ブラインズ Brines, Russell, 1911- Papers, 1924-1982.4

University of Wyoming American Heritage Center Archives

・横浜のビジネスマン・デニス・キルドイル Denis Kildoyle と Camp Tracy

・フェリス女学院校長ルーマン J シェーファ (1887-1958) とキリスト教復興運動

Special Collection & University Archives ,Rutgers University Library Shafer,Luman File

Hope College The Joint Archives of Holland Luman Jay Papers, 1937-1958. 1 folder.

・宣教師ヒューバート・カイパー Rev Hubert Kuyper とコロラド大学海軍日本語学校

Presbyterian minister based on his missionary experience in pre-war Japan, Rev. Kuyper taught Japanese at the US Navy School at the University of Colorado at Boulder during World War II.

参考：

・「特集 横浜から昭和を探る－新しい昭和史像を求めて」(横浜市史資料室・占領戦後史研究会共催シンポジウム記録 2012年7月12日) 『横浜市史資料室 紀要』第3号

・大西「横浜とカリフォルニア」『横濱』神奈川新聞社, vol.45 2012年

・<http://www.discovernikkei.org/ja/journal/2012/11/8/yokohama-to-california-1,2/>